

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (主幹兼治水係長 小西克彦)	内線	4408 (4437)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S55		現計画	再評価時点
事業名	広域基幹河川改修事業 (二)三原川水系三原川	着工年度	S55	総事業費	170億円	170億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	44億円	44億円
事業区間	三原郡西淡町松帆～三原郡三原町榎列 他			完成予定年度	H50	
所在地	三原郡西淡町・三原町			進捗率 (内用補進捗率)	53%(45%)	51%(44%)

事業の目的

事業内容

<p>当該河川では、全川にわたり計画流量に対する河川断面が不足しているため、昭和54年9月台風16号により甚大な浸水被害が発生した。</p> <p>このため昭和54年災害の洪水に対応した治水安全度1/60の整備を目標とし、上流で5ダムを整備するとともに河道改修を進めることとし、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する。</p>	<p>計画流量 $Q=1,400\text{m}^3/\text{s}$ (治水安全度 1/60 : 西淡町末帆)</p> <p>実施内容 $L=10,840\text{m}$ $W=85\sim 50\text{m}$ 築堤、掘削、護岸、道路橋11橋、井堰2基等</p>
--	---

進捗状況	<p>河道改修は昭和55年から着手し、引堤方式を優先して整備を進めている。</p> <p>再評価時点(平成10年度)から現在までに三原川と倭文川の合流部の治水上ネックとなっている箇所改修に着手したが、H11年6月の集中豪雨により孫太川周辺に甚大な被害をもたらした。そのため、H13年度より三原川と倭文川合流部の改修を一時休止し、孫太川の改修に着手し集中投資を図った。H14年度には孫太川で概ね事業が完了したため、H15年度から再度三原川と倭文川合流部の改修を再開した。平成18年までに三原川と倭文川合流部におけるネック部を解消し、現況流下能力を向上させる。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。 (上流に計画されている5ダムに関しては平成14年度に全て完成した。)</p>
------	--

評価視点

評価結果の説明

(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 昭和54年9月の台風16号では、浸水面積2700ha、浸水家屋数2000戸の甚大な浸水被害を受けており、西淡町の市街地や学校、優良農地の再度被害を防止するために継続的な整備の実施が必要である。
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> $B/C=4.1$ (県)松島橋の架替えについては道路管理者と連携して実施することで、効率的な事業の執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型のブロックマットを採用することにより生物の生息や植生に配慮する。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 残事業区間の沿川には多くの人家が存在する上、現況流下能力が計画流量の50%程度と低いことから、再度の浸水被害を防止するため残事業区間を早期に改修する必要がある。

再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。
---------	------	------	---------------------